

# 2022年度 事業報告

一般財団法人 宮城県成人病予防協会

## I. 総括

2022年度は、前年同様、出口の見えないコロナ禍と世界情勢の影響によってエネルギーコストをはじめ物価全般が一層高騰する中、それと同時に賃金改善が社会的課題となったことで各企業には難しい対応が迫られ、当協会においても厳しい運営を余儀なくされました。

協会全体では、年度収益計画の達成を目指して増収と支出削減に並行して努めた結果、病院部門の貢献により収入面で計画を達成することができた一方、それに伴って支出増も生じたことにより、計画にわずかに及ばないものの黒字を計上することができました。賃金改善の取り組みでは、厚生労働省による医療職処遇改善支援事業の活用とともに一部協会原資を加えることで、約3%の賃金改善を実施しました。

病院部門においては、心臓血管外科を中心とする治療分野が増えたことで収入は増加しましたが、8月と1月の2度にわたるクラスターの発生により一部病床の閉鎖を強いられ、想定した病床稼働率の向上は実現できませんでした。収入増に対して支出面は、材料費率の高止まり、非常勤医師の活用頻度増に伴う人件費の増額等により、結果として利益貢献は成されませんでした。

健診部門においては、年度収益計画には未達となりましたが、価格改定と一部受診者数増により収入面では前年比で増収を達成しました。

この他、一昨年度から取り組んでいる業務効率化について、今年度は施設健診におけるWEB予約・WEB問診の導入、一部画像読影のデジタル化等を推進してまいりました。今後は後方事務の自動化を継続的課題として推進してまいります。

## II. 診療部門事業報告

### 仙台循環器病センター

#### 1. 事業計画の達成状況

①2022年診療報酬改定において新設または増額評価された各種指導管理料など、当院規模において届出、算定可能な項目を積極的に実施することで、医療の質を高めるとともに収益性の改善につなげます。

→ 質向上と増収をめざした各種指導料、管理料の届出にむけて、専門職の配置などを含めて進めてきたところですが、期中、複数回にわたる新型コロナの院内クラスターに見舞われ、いまだ完了出来ていないものが複数残っております。

これらについては次年度も継続して取り組む所存です。具体的には、医師事務作業補助体制加算2へのアップグレードは2022年度中に実施できましたが、病棟薬剤師の配置、栄養サポートチーム、がん患者リハビリテーションなどについては人員の採用、実施準備に時間を要し、2023年度上期の立ち上がりとなる見通しです。

②心臓血管治療においては、心臓血管外科と循環器内科の協働による新しい低侵襲手術を導入し、周辺医療機関との連携を通じて対象患者の受け入れを推進します。

→ TAVI（経カテーテル的大動脈弁置換術）実施施設の認定を受け、高齢者に対する低侵襲な手術の選択肢として、10月中旬より開始し2022年度は12件の実績となりました。

③医師の働き方改革への対応にむけて、医師の補充をはじめ、医師への業務集中を是正するために必要な他の専門職種の人員体制を確保し、引き続きタスクシフトを推進します。

→ 医師の就業規則の整備、勤怠管理システムによる医師の労働時間管理を実施し、勤務環境の改善を進めるとともに、引き続き他職種によるタスクシフトを併せて進めてまいりました。現在も途上にあります。医師事務作業補助の充実により文書作成・予約管理などにおいて業務範囲を拡大しました。

さらに、コメディカルによる業務範囲拡大のための「告示研修（厚生労働大臣指定）」の受講を進めてきました。コロナ影響により実技研修の枠に限りがあり、受講待ちが一部生じているため、次年度も引き続き進めてまいります。

## 2. 診療実績

①外来患者延べ数	52,427人
②入院患者延べ数	29,577人
③手術件数	417件
④心臓カテーテル件数	773件
⑤心臓ペースメーカー植込術件数	79件
⑥R I 検査数	374件
⑦心臓CT検査数	863件

## III. 健康診査部門事業報告

### 1. 増収対策

住民健診は、コロナ禍での集団健診の実施体制が定着してきたことで、大部分の市町村で受診人数が増加となりました。事業所健診は、コロナ禍継続による経済的影響もあり中小事業所の受診人数は減少傾向となりましたが、健診料金改定や新規先開拓により増収となりました。施設健診は2施設の連携を進め、人間ドックや胃カメラの予約枠の拡大に努めて、受診人数が増加したことで健診料金改定が進められたことで増収を確保できました。

## 2. 生産性とサービスの向上

施設健診では、健診システムと連動したWEB問診を導入したことで問診票のペーパーレス化や問診データの取込作業が無くなり、結果処理業務の効率化を進めました。また、心電図検査のデジタル化ではシステム仕様の確定作業に着手して、システム導入に向けて前進させました。巡回健診では健診現場でのキャッシュレス決済を開始して、受診者の利便性向上に取り組みました。

## 3. 情報セキュリティの強化

ランサムウェアをはじめとするコンピュータウィルスの脅威に対応するためファイアウォールやウィルス対策ソフトを更新して、情報セキュリティ対策を実施するとともに、情報セキュリティの運用管理体制を強化して、ISMS 外部認証取得に向けて取り組みました。

## 4. 精度の向上

①健診システムの有効活用及び検査機器の適切な管理、また感染防止ガイドラインに沿った受診環境の整備により、精度の高い安心安全な健診を提供しました。

②健診施設の機能評価や健診事業の外部精度管理の認定更新を行い、精度管理のレベルアップに取り組みました。

- ・ 日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価
- ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構認定
- ・ 全衛連労働衛生サービス機能評価

③精度管理事業に参加し、優秀な評価を得ました。

- ・ 日本医師会精度管理（臨床検査）
- ・ 宮城県臨床検査技師会精度管理（臨床検査）
- ・ 日臨技臨床検査精度管理調査（臨床検査）
- ・ 日本総合健診医学会精度管理（臨床検査）
- ・ 全衛連総合精度管理（胸部/胃部エックス線写真・臨床検査・労働衛生検査・腹部超音波検査）

## 5. その他

「2022年度健康セミナー」を開催

- ・ 開催日：令和4年11月18日
- ・ 開催場所：仙台サンプラザ
- ・ 参加および視聴団体：6市町村、62団体事業所

- ・内容：講演1「眼科検診で緑内障を発見する意義とその対策」  
 東北大学大学院医学系研究科神経感覚器病態学講座・眼科学分野  
 教授 中澤 徹 先生
- 講演2「歯科から見た生活習慣病」  
 東北大学大学院歯学研究科歯内歯周治療学分野  
 歯科医師 庄司 茂 先生

※講演内容はY o u T u b eでのライブ配信により、オンラインでの視聴も行いました。

#### 6. 健診実績

①住民健診	69,592名
②事業所健診	207,883名
③学校健診	84,201名
④総合健診	18,714名
⑤保険診療	15,889名
⑥その他	9,981名

### IV. 公益活動

1. 健康増進と疾病予防を図るため、生活習慣病予防に関する普及啓発、調査研究、情報収集・提供をしました。

#### 1) 調査研究・情報収集・提供

##### ①事業年報の作成・提供

自治体・大学・企業・健診団体等への提供 200部

##### ②機関誌「TWO BIRDS」の発行（3回）

2022年4月・9月・2023年2月 計15,000部

##### ③健康増進に係る学会・研修会参加

日本産業精神保健学会、日本公衆衛生学会等に参加しました。また、保健指導に関する25の研修会に述べ36名が参加しました。

##### ④調査研究

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所の実施する「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究」の調査に協力しました。また、東北大学COIプログラム「分散型健康生産社会を創生する暮らしの中の日常人間ドック2.0」の共同研究に参加しました。

2) 健康教室・運動教室の開催等

- ・ 予防啓発に関する講演・講話 48回 2,565名参加  
「健診づくりのカギは健診結果に」  
「メンタルヘルスセミナーこころの健康を保つために」等
- ・ 各種健康教室、運動教室・介護予防教室 47回 874名参加  
「簡単エクササイズ」、「にこにこ健康教室」等

2. 健康診断の結果等に基づいて健康づくり支援を実施しました。

1) 地域住民に対して

- 健診の事前指導・事後指導・結果説明会および各種健康相談の実施  
47回 484名参加
- 特定保健指導 1,127名実施

2) 産業保健分野に対して

- 健診の事前指導・事後指導・結果説明会及び各種健康相談の実施  
60回 303名参加
- 特定保健指導 661名実施

## V. 理事会および評議員会の開催状況

### 1. 理事会

定時第1回 2022年5月26日 於：ホテルメトロポリタン仙台

- 第1号議案 2021(令和3)年度事業報告(案)承認の件
- 第2号議案 2021(令和3)年度収支決算(案)承認の件
- 第3号議案 2022年度検診車整備事業における補助金活用について
- 第4号議案 役員(理事)の推薦について
- 第5号議案 定時評議員会の招集及び提出議案について
- 第6号議案 任期満了に伴う評議員選定委員の選任について
- 第7号議案 規程の一部改定について

定時第2回 2023年3月23日 於：ホテルメトロポリタン仙台

- 第1号議案 2023年度事業計画(案)の承認について
- 第2号議案 2023年度収支予算(案)の承認について
- 第3号議案 監事の退任に伴う後任者候補の推薦について
- 第4号議案 規程の一部改定および定款の一部変更について
- 第5号議案 2022年度検診車整備事業の遅延について

## 2. 評議員会

定 時 2022年6月16日 於：江陽グランドホテル

第1号議案 2021年度事業報告について

第2号議案 2021年度収支決算の承認について

第3号議案 役員(理事)の選任について

臨 時 2023年3月23日 於：ホテルメトロポリタン仙台

第1号議案 2023年度事業計画(案)の承認について

第2号議案 2023年度収支予算(案)の承認について

第3号議案 監事の退任に伴う後任者の選任について

第4号議案 規程の一部改定および定款の一部変更の承認について

第5号議案 2022年度検診車整備事業の遅延について

## VI. 附属明細書について

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上